

工 事 成 績 評 定 書

契約番号				工事担当課			
工事名				契約年月日			
工事場所				工期	着工		
受注者名	名称				完成		
	代表者名			完成年月日			
現場代理人氏名				検査年月日			
主任・監理技術者氏名				契約金額	当初	円	
工事種別					変更	円	

総合評定	監督員×0.4	総括監督員×0.2	検査員×0.4	法令遵守等	総合評定点
	点	点	点	点	点

考査項目		配 分			監 督 員					総括監督員					検 査 員							
項目	細 別	監督員	総括監督員	検査員	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	
1 施工体制	(1) 施工体制一般	+1.0	-	-	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2) 配置技術者	+3.0	-	-	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 施工状況	(1) 施工管理	+4.0	-	+5.0	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	-	-	-	-	-	+5.0	-	+2.5	-	0	-7.5	-15	
	(2) 工程管理	+4.0	+2.0	-	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0	+1.0	0	-7.5	-15	-	-	-	-	-	-	-	
	(3) 安全対策	+5.0	+3.0	-	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0	+1.5	0	-7.5	-15	-	-	-	-	-	-	-	
	(4) 対外関係	+2.0	-	-	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 出来形及び出来ばえ	(1) 出来形	+4.0	-	+10.0	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0	-	-	-	-	-	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	
	(2) 品質	+5.0	-	+15.0	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0	-	-	-	-	-	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	(3) 出来ばえ	-	-	+5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+5.0	-	+2.5	-	0	-5.0	-	
4 工事特性	※加点点評価0～+20	-	+20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 創意工夫	※加点点評価0～+7	+7.0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 社会性等	※加点点評価0～+10	-	+10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加減点合計	1+2+3+4+5+6	+35.0	+35.0	+35.0	-	-	-	-5.0	-	-	-	-	+0.0	-	-	-	-	-	-	-	+0.0	
基準点	基準点65±	65	65	65	-	-	-	65	-	-	-	65	-	-	-	-	-	-	-	-	65	
評 定 点		100	100	100	合 計					合 計					合 計							
7 法令遵守等	※減点点評価0～-20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

評 定 者	職 名	氏 名	所 見
検 査 員			
総括監督員			
監 督 員			

工事成績評定の考査項目別運用表

□建築・設備工事

採点者	考査項目	細別	工種等	考査表	備考
監督員	1 施工体制	I 施工体制一般		監2-1	
		II 配置技術者(現場代理人等)			
	2 施工状況	I 施工管理		監2-2(1)	
		II 工程管理			
		III 安全対策		監2-2(2)	
		IV 対外関係			
	3 出来形及び出来ばえ	I 出来形		監2-3	
II 品質		建築工事(新築・改築)	監2-3(新築・改築)		
		設備工事	監2-3(設備)		
	解体工事	監2-3(解体)			
5 創意工夫	I 創意工夫		監2-4		
総括監督員	2 施工状況	II 工程管理		総2-1	
		III 安全管理			
	4 工事特性	I 施工条件等への対応		総2-2	
	6 社会性等			総2-3	
	7 法令遵守等			総2-4	
検査員	2 施工状況	I 施工管理	建築工事(新築・改築)	検2-1(新築・改築)	
			設備工事	検2-1(設備)	
			解体工事	検2-1(解体)	
	3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	建築工事(新築・改築)	検2-2(新築・改築)	
			設備工事	検2-2(設備)	
			解体工事	検2-2(解体)	
	II 品質				
III 出来ばえ					

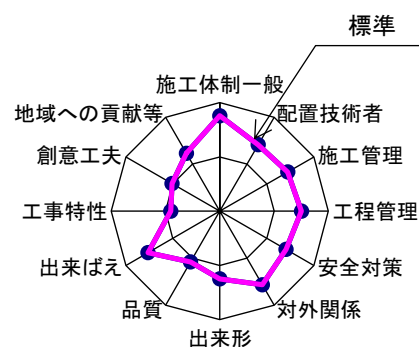
項目別評定点

契約番号：

工事名：

評定項目	細別	評定点／満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 3.3 点
	II. 配置技術者	／ 4.1 点
2. 施工状況	I. 施工管理	／ 13.0 点
	II. 工程管理	／ 8.1 点
	III. 安全対策	／ 8.8 点
	IV. 対外関係	／ 3.7 点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	／ 14.9 点
	II. 品質	／ 17.4 点
	III. 出来ばえ	／ 8.5 点
4. 工事特性 (加点のみ)	I. 施工条件等への対応	／ 7.3 点
5. 創意工夫 (加点のみ)	I. 創意工夫	／ 5.7 点
6. 社会性等 (加点のみ)	I. 地域への貢献等	／ 5.2 点
7. 法令遵守等 (減点のみ)		点
評定点合計		／ 100.0 点

所見



[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
1. 施工体制	I 施工体制一般	●評価対象項目		施工体制一般に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e						
				施工体制一般に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない						
				施工計画書を、工事着手前に提出している						
				作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している（下請契約がある場合）						
				品質証明の時期・確認事項が工事全般にわたり、よく把握されている						
				元請けが下請の作業成果を検査している（下請契約がある場合）						
				施工計画書の内容と現場施工方法が一致している						
				緊急指示、災害、事故等の発生した場合の対応が速やかである						
				現場に対する本店や支店による支援体制が整えている						
				工場製作期間における技術者を適切に配置している						
				機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている						
				その他（理由： _____）						
				評価値(_____ %) = 評価数(_____) / 評価対象項目数(_____)						
								a	b	c
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
1. 施工体制	II 配置技術者 (現場代理人等)	●評価対象項目		配置技術者に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e						
				配置技術者に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
				【全体を評価する項目】						
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項がない						
				作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している						
				【現場代理人を評価する項目】						
				現場代理人が、工事全体を把握している						
				設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている						
				監督員への報告を適時及び的確に行っている						
				【監理(主任)技術者を評価する項目】						
				書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している						
				契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している						
				施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている						
				下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている						
				監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている						
その他（理由： _____）										
評価値(_____ %) = 評価数(_____) / 評価対象項目数(_____)										

考査項目	細別	評定
1. 施工体制	I. 施工体制一般	
	II. 配置技術者	

契約番号:
工事名:
施工者:
担当課:

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
2. 施工状況	I 施工管理	●評価対象項目								
				施工管理に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e						
		評価項目90%以上 ・・・a		施工管理に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
		評価項目80%以上 90%未満・・・b		「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項がない						
				施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている						
		評価項目60%以上 80%未満・・・c		現場条件の変化に対して、適切に対応している						
				工事材料の品質に影響が無いよう保管している						
		評価項目60%未満 ・・・d		日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている						
				日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている						
		評価対象項目 3項目以下・・・c		現場内の整理整頓を日常的に行っている						
			指定材料の品質証明書及び写真等を整理している							
			工事打合せ簿を、不足無く整理している							
			建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている							
			工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している							
			その他（理由： _____）							
			評価値(_____ %) = 評価数(_____) / 評価対象項目数(_____)							
		細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
					適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切	
		II 工程管理	●評価対象項目							
					工程管理に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e					
評価項目90%以上 ・・・a				工程管理に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
評価項目80%以上 90%未満・・・b				「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項がない						
				工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している						
評価項目60%以上 80%未満・・・c				実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程管理をしている						
				現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない						
評価項目60%未満 ・・・d			時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い							
			工事の進捗を早めるための取り組みを行っている							
評価対象項目 3項目以下・・・c			適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い							
			休日の確保を行っている							
			計画工程以外の時間外作業がほとんど無い							
			その他（理由： _____）							
			評価値(_____ %) = 評価数(_____) / 評価対象項目数(_____)							

考察項目	細別	評定
2. 施工状況	I. 施工管理	
	II. 工程管理	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e			
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切			
2. 施工状況	Ⅲ 安全対策	●評価対象項目									
		評価項目90%以上 ・・・a	○	○	安全対策に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e						
					安全対策に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
		評価項目80%以上 90%未満・・・b	○	○	「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項がない。または、指示事項に対する改善が速やかに（次回）実施された						
					災害防止協議会等を1回/月以上行っている						
		評価項目60%以上 80%未満・・・c	○	○	安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している						
					新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している						
		評価項目60%未満 ・・・d	○	○	工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった						
					過積載防止に取り組んでいる						
		評価対象項目 3項目以下・・・c	○	○	仮設工の点検及び監理を、チェックリスト等を用いて実施している						
					工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されていた						
				○	○	地下埋設物及び架空線等に関する事故防止策に取り組んでいる					
				○	○	その他（理由： _____）					
				評価値（ _____ %）＝評価数（ _____ ）／評価対象項目数（ _____ ）							
			細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切			
2. 施工状況	Ⅳ 対外関係	●評価対象項目									
		評価項目90%以上 ・・・a	○	○	対外関係に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。 上記該当項目あれば・・・e						
					対外関係に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。 上記該当項目あれば・・・d						
		評価項目80%以上 90%未満・・・b	○	○	「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項がない。または、指示事項に対する改善が速やかに（次回）実施された						
					関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い						
		評価項目60%以上 80%未満・・・c	○	○	地元との調整を行い、トラブルの発生がない						
					第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている						
		評価項目60%未満 ・・・d	○	○	関係工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる						
					工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している						
				○	○	その他（理由： _____）					
				○	○	評価値（ _____ %）＝評価数（ _____ ）／評価対象項目数（ _____ ）					

考査項目	細別	評定
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	
	Ⅳ. 対外関係	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【建築工事(新築・改修)】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形	●評価対象項目								
				出来形管理が不備であり、設計図書に適合しないため、契約書第17条に基づき 改造請求 を行った						
				上記該当項目あれば・・・e						
				出来形管理がやや不備であるため、監督員が 文書で改善指示 を行った						
				上記該当項目あれば・・・d						
				承諾図等が、設計図書を満足している						
				施工図等が、設計図書を満足している						
				写真管理基準の管理項目を満足している						
				現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である						
				施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している						
			管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である							
			出来形の管理方法を工夫している							
			解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である							
			不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる							
			その他(理由:)							
			評価値()% = 評価数() / 評価対象項目数()							
		細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
					適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切	
		II 品質	●評価対象項目							
					品質管理が不備であり、品質が劣るため、契約書第17条に基づき 改造請求 を行った					
				上記該当項目あれば・・・e						
				品質管理がやや不備であるため、監督員が 文書で改善指示 を行った						
				上記該当項目あれば・・・d						
				品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫があった						
				施工計画書に定められた品質計画により管理されていた						
				材料・製品の品質が、製作図等で確認でき、設計図書を満足している						
				請負者の品質計画による品質管理記録が整備され、内容が適切である						
				施工の各段階における完了時の品質が適切である						
		躯体工事における施工の品質が良好である								
		内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である								
		不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている								
		その他(理由:)								
		評価値()% = 評価数() / 評価対象項目数()								

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	
	II. 品質	

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	創意工夫キーワード一覧表(創意工夫が多く見られるリスト)
5. 創意工夫	I 創意工夫 キーワード評価	■準備・後片づけ関係	
			測量・位置出しに工夫が見られた
			現地調査方法の工夫
			その他(理由:)
		■施工関係	
			施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整等に工夫が見られた
			工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組みがされた
			土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫が見られた
			建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫が見られた
			電気設備工事等の配線、配管等で工夫が見られた
			暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫が見られた
			照明・視界確保等に工夫が見られた
			仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工に工夫が見られた
			運搬車両・施工機械等に工夫が見られた
			型枠、足場、山留め等の仮設関係に工夫が見られた
			施工管理及び品質の向上等に工夫が見られた
			プレハブ工法等を採用し、工期短縮等に工夫が見られた
			改修工事における仮設施工等に工夫が見られた
			既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等に工夫が見られた
			保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫が見られた
			作業の安全性向上のための施工方法等に工夫が見られた
			その他(理由:)
		■品質関係	
			集計ソフト等の活用などに工夫が見られた
			躯体工事の品質管理に工夫が見られた
			建築材料・機材の検査・試験に関する工夫が見られた
			施工の検査・試験に関する工夫が見られた
			品質記録方法の工夫が見られた
			その他(理由:)
		■安全衛生関係	
			安全仮設備等で工夫が見られた(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入防護柵、手摺り、足場等)
			安全教育、技術向上講習会、ミーティング、安全パトロール等に関して工夫が見られた
			現場事務所、休息所等の環境向上の工夫が見られた
			酸欠対策・有毒ガス・可熱ガスの処理及び防塵防止策や作業中の換気等で工夫が見られた
			周辺道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫が見られた
			改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策に工夫が見られた
			作業時における作業環境改善等の工夫が見られた
			ゴミの減量化。アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫が見られた
			その他(理由:)
		■施工管理関係	
			出来形管理等に関する工夫が見られた
			施工計画書及び写真管理等に工夫が見られた(デジタル写真ソフトの活用等)
			出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等に工夫が見られた
			CAD、施工管理ソフト、土質管理システム等の活用が見られた
			その他(理由:)
		■その他<新技術活用> ※新技術の活用に関する下記3項目での加点は最大4点とする	
			NETIS登録技術のうち試行技術を活用し、活用効果調査表を提出している(2点加点)
	NETIS登録技術のうち活用した試行技術が「少実績優良技術」である場合又は発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上であった場合(2点加点)		
	NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち、「有用とされる技術」を活用するか、「有用とされる技術」以外の新技術を活用した結果、当該工事において発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合(4点加点)		
	その他(理由:)		
	その他(理由:)		
記述評価		【創意工夫の詳細評価】	
	評点: 点		
	・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。		
	・1項目1点とし、7点~0点の範囲で加点評価する。		

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他の具体的内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

[記入方法] 該当する項目の枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	a	b	c	d	e									
			優れている	やや優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている									
2. 施工状況	II 工程管理	<p>●評価対象項目</p> <p>隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。</p> <p>工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p>災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>その他（理由）:</p>														
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>工程管理がやや劣っている</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>工程管理が劣っている</td> </tr> </table>						a	工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）	b	工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）	c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）	d	工程管理がやや劣っている	e
a	工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）															
b	工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）															
c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）															
d	工程管理がやや劣っている															
e	工程管理が劣っている															
	細 別	評価項目	a	b	c	d	e									
			優れている	やや優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている									
	III 安全対策	<p>●評価対象項目</p> <p>建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p>安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p>安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p>安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p>その他（理由）:</p>														
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>安全対策がやや劣っている</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>安全対策が劣っている</td> </tr> </table>						a	安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）	b	安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）	c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）	d	安全対策がやや劣っている	e
a	安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）															
b	安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）															
c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）															
d	安全対策がやや劣っている															
e	安全対策が劣っている															

考察項目	細別	評定
2. 施工状況	II. 工程管理	
	III. 安全対策	

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細別	評価対象項目	詳細評価内容欄
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	<p>■建物規模への対応</p> <p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば2点の加点とする。</p> <p>延べ面積が10,000㎡以上の建物</p> <p>地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p>大空間のホール等を有する建物</p> <p>その他()</p> <p>評点 ____ 点</p>	
	■建物固有の機能の難しさへの対応	<p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば2点の加点とする。</p> <p>対象構造物の耐震レベル</p> <p>建物機能の特殊性</p> <p>その他()</p> <p>【技術評価事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で市有施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は冷暖房衛生設備工事で市有施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 <p>評点 ____ 点</p>	
	■建物固有の施工技術の難しさへの対応	<p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば2点の加点とする。</p> <p>建築材料、設備材料、工法について提案がある場合</p> <p>設計条件として、工法、材料及び設備システム(機器を含む)の特殊性</p> <p>制約条件等があり、施工難度が特に高い工事</p> <p>その他()</p> <p>【技術評価事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り廻りを行う工事 <p>評点 ____ 点</p>	
	■厳しい自然・地盤条件への対応	<p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば2点の加点とする。</p> <p>湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p>軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p>雨・雪・風・気温等の影響</p> <p>その他()</p> <p>【技術評価事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工事や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制 <p>評点 ____ 点</p>	
	■厳しい周辺環境等、社会条件への対応	<p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば2点の加点とする。</p> <p>地中埋設物等の作業障害</p> <p>工事の影響に配慮すべき建設物等の接近物</p> <p>周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p>周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p>その他()</p> <p>【技術評価事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理施設(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間制限が条例で定められている工事 <p>評点 ____ 点</p>	
	■施工現場での対応	<p>※下記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば4点の加点とし、最大10点とする。</p> <p>【長期工事における安全確保への対応】</p> <p>12ヶ月を超える工事で事故がなく完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く)</p> <p>【災害等での臨機の措置】</p> <p>地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事</p> <p>【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】</p> <p>工事の実施に当たり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事</p> <p>工程上他の工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p>休日・夜間作業が工程の過半を超える工事</p> <p>施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事</p> <p>特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事</p> <p>外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</p> <p>特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事</p> <p>施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</p> <p>同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事</p> <p>その他()</p> <p>評点 ____ 点</p>	
	評点計 = ____ 点	<p>※1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。</p> <p>※2. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点を与えても良い。</p> <p>※2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。</p>	

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	適 用 事 例	
6. 社会性等	I 地域への貢献等		河川等の環境保全を具体的に実施した	
			国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。	
			現場事務所や作業現場の整理・整頓・清掃が徹底しており、積極的に周辺地域との調和を図った。	
			地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等に積極的に参加し地域に貢献した。	
			現場内の住民に対する日常の挨拶等、積極的に地域とのコミュニケーションに務めていた	
			災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。	
	II 環境配慮		アイドリングストップや低振動、低騒音、排ガス対策型建設機械使用等、環境配慮に努めていた	
			包装・梱包材の簡素化等ゴミの減量化に配慮していた	
			省エネルギー型工事関連機器の使用に努めていた	
			使用材料や仮設等の環境リスクの少ない建材や工法の採用に努めていた（間伐材の使用を含む）	
			既存の自然・生態系へのダメージを最小化するよう努めていた	
	III その他		ISO14000Sを取得している	
			ISO9000Sを取得し、本工事においてもその対象とした	
			社内検査を行い、出来形、品質を担当者以外の者に確認し、書面にて報告がなされた	
			過積載防止教育を行い、具体的な防止策の報告がなされた	
	IV 特別考慮要因			
				<p>評点： _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会性等については加点評価とする。 ・1項目1点とし、10点～0点の範囲とする。

[記入方法] 該当する項目の欄に○マークを記入する

考査項目	該当項目	法令遵守等の該当項目一覧表
7. 法令遵守等	措置内容	点数
	指名停止3ヶ月以上	-20点
	指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	文書注意	-8点
	口頭注意	-5点
	工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件、もらい事故や交通事故は含まない)	-3点
①本項目で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適応		
②「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する		
③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、主任(監理)技術者、請負会社及び下請会社の従業員に限定する		
【上記で評価する場合の適応事例】		
<ul style="list-style-type: none"> ・入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した ・承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は継承を行った ・宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した ・当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された ・建設業に違反する事実が判明した(例)一括下請け、技術者の専任違反等 ・入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された ・使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された ・監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた、あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した ・下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払い遅延や、あるいは不当に下請代金の額を減じている等の行為がある ・過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された ・受注企業の社員に「指定暴力団」等に所属する構成員等暴力団関係者がいることが判明した ・下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した、あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した ・安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした ・施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった ・その他(理由:) 		

考察項目	評定
6. 法令遵守	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【建築工事(新築・改修)】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				優良	良好	他に該当なし	やや劣っている	劣っている		
2. 施工状況	I 施工管理	●評価対象項目		施工管理について、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった 上記該当項目あれば・・・e						
			評価項目90%以上 ・・・a		施工管理について、監督員が 文書による改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d					
			評価項目80%以上 90%未満・・・b		契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる					
			評価項目60%以上 80%未満・・・c		施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている					
			評価項目60未満 ・・・d		工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致している					
			評価対象項目 3項目以下・・・c		現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している					
					工事材料の品質に影響の無いように工事材料を管理していることが確認できる					
					段階確認等の立会確認の手続きが事前に行っていることが確認できる					
					建設副産物の再利用、産業廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている					
					施工体制台帳及び施工体系図を法令に沿った内容で的確に整備していることが確認できる(下請契約がある場合)					
				下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる(下請契約がある場合)						
				品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っている						
				工事の関係書類を不足なく簡潔に整理している						
				社内の管理基準等が作成され管理していた						
				品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる						
	建退共の証紙が適切に配布され管理されている雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適切に処理されている。									
	その他(理由:)									
				評価値() = 評価数 () / 評価対象項目数()						

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e		
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形 (新築工事) (改修工事)	●評価対象項目		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、契約書第17条に基づき 改造請求 を行った 上記該当項目あれば・・・e							
			評価項目90%以上 ・・・a		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、監督員が 文書で改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d						
			評価項目80%以上 90%未満・・・a'		承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる						
			評価項目70%以上 80%未満・・・b		施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる						
			評価項目60%以上 70%未満・・・b'		施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる						
			評価項目50%以上 60%未満・・・c		出来形の管理記録(管理図・管理表)の整備が、良好であることが確認できる						
					出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる						
					現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる						
			評価項目50未満		現場における出来形が良好で、施工の精度が高い						
					不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録等で的確に確認できる						
				その他(理由:)							
							評価値() = 評価数 () / 評価対象項目数()				

考査項目	細別	評定
2. 施工状況	I. 施工管理	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

機械・電気設備工事

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e
				優良	良好	他に該当なし	やや劣っている	劣っている
2. 施工状況	I 施工管理	●評価対象項目		施工管理について、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった 上記該当項目あれば・・・e				
				施工管理について、監督員が 文書による改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d				
				契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる				
				施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている				
				工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致している				
				現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している				
				工事材料の品質に影響の無いように工事材料を管理していることが確認できる				
				段階確認等の立会確認の手続きが事前に行っていることが確認できる				
				建設副産物の再利用、産業廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている				
				施工体制台帳及び施工体系図を法令に沿った内容で的確に整備していることが確認できる（下請契約がある場合）				
				下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる（下請契約がある場合）				
				品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っている				
				工事の関係書類を不足なく簡潔に整理している				
				社内の管理基準等が作成され管理していた				
				品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる				
	建退共の証紙が適切に配布され管理されている雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適切に処理されている。							
	その他（理由： _____）							
			評価値（ _____ %）= 評価数（ _____ ） / 評価対象項目数（ _____ ）					

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e	
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている	
3. 出来形及び出来ば	I 出来形 (機械設備工事) (電気設備工事)	●評価対象項目		出来形管理が不備であり、設計図書に適合しないため、契約書第17条に基づき 改造請求 を行った 上記該当項目あれば・・・e							
				出来形管理がやや不備であるため、監督員が 文書で改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d							
				出来形管理の記録・資料及び竣工図等が適切にまとめられており、確認できる							
				器具・盤類等、各種資機材の取付け・配置・納まり等が良好である							
				出来形管理の写真記録が適切で、不可視部分の出来形も的確に確認できる							
				屋外や貫通部分の施工が的確である							
				受変電設備や主要機械機器の施工状況が的確である							
				出来形の外観・形状・寸法が設計図書を満足し、ばらつきが少ない							
				配管・配線等の施工状況が的確で統一されている							
				耐候性等、施工現場に適した施工が行われたことが確認できる							
				予備品・治具・保守説明書等の納入・作成が適切に行われている							
				自主管理目標値を設定するなど、創意工夫をもって管理している							
				その他（理由： _____）							
						※出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状寸法である ※出来形管理とは、管理基準の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である					
						評価値（ _____ %）= 評価数（ _____ ） / 評価対象項目数（ _____ ）					

考査項目	細別	評定
2. 施工状況	I. 施工管理	
3. 出来形及び出来ば	I. 出来形	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【解体工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
				優良	良好	他に該当なし	やや劣っている	劣っている	
2. 施工状況	I 施工管理	●評価対象項目		施工管理について、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった 上記該当項目あれば・・・e					
			評価項目90%以上・・・a		施工管理について、監督員が 文書による改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d				
			評価項目80%以上90%未満・・・b		契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる				
			評価項目60%以上80%未満・・・c		施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている				
			評価項目60未満・・・d		工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致している				
					現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している				
			評価対象項目		工事材料の品質に影響の無いように工事材料を管理していることが確認できる				
					段階確認等の立会確認の手続きが事前に行っていることが確認できる				
				建設副産物の再利用、産業廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている					
				施工体制台帳及び施工体系図を法令に沿った内容で的確に整備していることが確認できる（下請契約がある場合）					
				下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる（下請契約がある場合）					
				品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っている					
				工事の関係書類を不足なく簡潔に整理している					
				社内の管理基準等が作成され管理していた					
				品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる					
	建退共の証紙が適切に配布され管理されている雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適切に処理されている。								
	その他（理由： _____）								
評価値（ _____ %）= 評価数（ _____ ） / 評価対象項目数（ _____ ）									

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形	●評価対象項目		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、契約書第17条に基づき 改造請求 を行った 上記該当項目あれば・・・e						
			評価項目90%以上・・・a		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、監督員が 文書で改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d					
			評価項目80%以上90%未満・・・a'		施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる					
			評価項目70%以上80%未満・・・b		現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる					
					現場における出来形が良好で、施工の精度が高い					
			評価項目60%以上70%未満・・・b'		出来形の管理記録（管理図・管理表）の整備が、良好であることが確認できる					
					出来形管理において、自主管理目標を設定するなど、創意工夫をもって管理している					
			評価項目50%以上60%未満・・・c		不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録等での確認できる					
					その他（理由： _____）					
			評価値（ _____ %）= 評価数（ _____ ） / 評価対象項目数（ _____ ）							

考査項目	細別	評価
2. 施工状況	I. 施工管理	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	

工事成績採点の考査項目別運用表

[検2-2(新築・改修)]

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【建築工事(新築・改修)】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目		a	a'	b	b'	c	d	e		
			優れている	bより優れている								やや優れている	cより優れている
3. 出来形及び出来ばえ	(2) 品質	●評価対象項目											
		評価項目90%以上 ・・・a		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が 修補指示 を行った 上記該当項目あれば・・・e									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が 指示を行い改善 された 上記該当項目あれば・・・d									
		評価項目80%以上 90%未満・・・a'		材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる									
				材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる									
		評価項目70%以上 80%未満・・・b		品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる 施工の品質適切であり、設計図書を満足していることが確認できる									
				建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書に満足していることが確認できる									
		評価項目60%以上 70%未満・・・b'		躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる									
				内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる									
		評価項目50%以上 60%未満・・・c		その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる									
				不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる									
		評価項目50未満		中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる									
				その他（理由： _____）									
				評価値（ _____ %）＝評価数（ _____ ）／評価対象項目数（ _____ ）									
			細 別	評価項目	a	b	c	d					
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い					
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 出来ばえ	●評価対象項目											
		評価項目該当 6項目以上・・・a		きめ細やかな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和の良い仕上がりである									
				仕上げ形状等において、使い勝手や使用者の安全に対する配慮が優れている									
		評価項目該当 5項目・・・b		仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である									
				色調が均一であり、色むら等が無く、全体的に美観が良好である									
		評価項目該当 4. 3項目程度・・・c		材料・製品の割付や通り等で良く、全体的な出来ばえが良好である									
				清掃及び後片付けの状況が良い									
		評価項目該当 2項目以下・・・d		その他（理由： _____）									
				※全体的な仕上がり状態、機能の評価する ※出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的評価を行う									

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅰ. 出来ばえ	

工事成績採点の考査項目別運用表

[検2-2(設備)]

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

機械・電気設備工事

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e	
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	(2) 品質	●評価対象項目									
		評価項目90%以上 ・・・a		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が 修補指示 を行った 上記該当項目あれば・・・e							
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が 指示を行い改善 された 上記該当項目あれば・・・d							
		評価項目80%以上 90%未満・・・a'		機材の品質が、承認図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる							
				施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる							
		評価項目70%以上 80%未満・・・b		機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる							
				品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる							
		評価項目60%以上 70%未満・・・b'		施工に品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる							
				施工の品質が試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる							
		評価項目50%以上 60%未満・・・c		システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる							
				システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある							
		評価項目50%未満		不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる							
				中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる							
				運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい							
					その他（理由： _____）						
		評価値（ _____ %）＝評価数（ _____ ）／評価対象項目数（ _____ ）									
	細 別	評価項目	a	b	c	d					
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い				
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 出来ばえ	●評価対象項目									
		評価項目該当 6項目以上・・・a		きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い							
				関連工事(設備)又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上げである							
				仕上りの状態が良好で色調が均一で色むら等が無い							
				機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能に優れている							
				環境負荷軽減への対策が優れている							
		評価項目該当 5項目・・・b		運転操作・使い勝手及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている							
				清掃及び後片付けの状況が良い							
		評価項目該当 4, 3項目程度・・・c		その他（理由： _____）							
				※全体的な仕上がり状態、機能の評価する							
評価項目該当 2項目以下・・・d		※出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的評価を行う									

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅰ. 出来ばえ	

工事成績採点の考査項目別運用表

[検2-2(解体)]

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【解体工事】

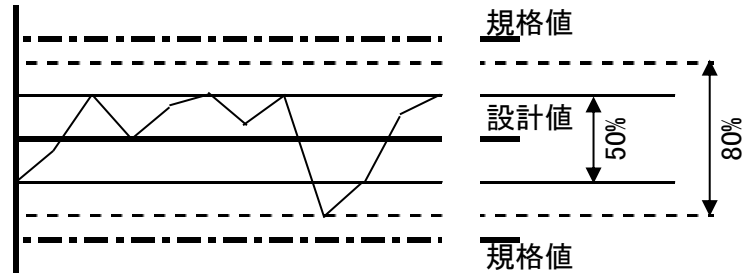
考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目						
			a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(2) 品質	●評価対象項目							
			不法投棄等 重大な過失 があった 上記該当項目あれば・・・e						
		評価項目90%以上・・・a		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が 指示 を行い 改善 された 上記該当項目あれば・・・d					
		評価項目80%以上90%未満・・・a'		産業廃棄物の処理が適切でかつ創意工夫がある					
				分別解体が適切でかつ創意工夫がある					
		評価項目70%以上80%未満・・・b		施工計画書に作業手法・手順、仮設、騒音・振動・粉塵対策が明記され、これにより管理されている					
				施工計画書に安全対策（作業所、交通誘導員、搬出入路等）が明記され、これにより管理されている					
		評価項目60%以上70%未満・・・b'		施工計画書に産業廃棄物の処理、リサイクル計画が明記され、これにより管理されている					
				産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付し適正に管理し、記入漏れがない					
		評価項目50%以上60%未満・・・c		写真記録が的確に撮影され、適正に管理されている					
				建設リサイクル法に基づいて適正に処理している					
		評価項目50未満・・・d		建設副産物適正処理推進要綱に基づき委託契約がなされ、適正に処理している					
				特別管理産業廃棄物（飛散アスベスト、PCB含有廃棄物等）の処理・保管等が適正である					
				再生資源利用・促進計画書（実施書）が提出されている					
				処理場所、処理数量、運搬距離、運搬経路が明確であり、書類・写真等で確認出来る					
		処理場所状況と処理場所が写真等で確認出来る							
		適宜、下請業者の処理状況を確認している							
		評価値(%) = 評価数 () / 評価対象項目数()							
	細 別	評価項目	a	b	c	d			
					全体的な外観及び仕上がり問題がな	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い			
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 出来ばえ	●評価対象項目							
		評価項目該当4項目以上・・・c		工事区域と区域外との納まりがなめらかで段差等がなく、端部まで仕上がりが良い					
				整地後の平坦性が確保され、解体後の残存物がなく均一な地表（質）が確保されている					
				関連工事との調整がなされ全体に調和がとれている					
				整地後の利用者の使い勝手や安全に対する配慮が適切である					
		評価項目該当3項目以下・・・d		工事完了後の設備関係の処理や表示が適切であり、後利用に支障がない					
	清掃及び後片付けの状況が良い								
		※「解体工事」については、出来形、品質を勘案しながら、C評価を上限とする。							

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅰ. 出来ばえ	

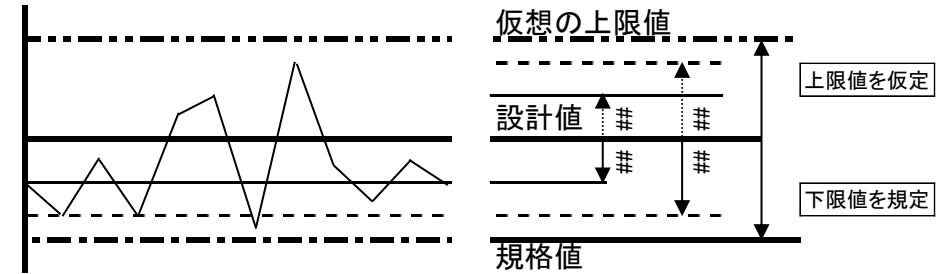
【記入方法及び留意事項】

1 出来形及び品質のばらつき考え方
〔管理図の場合〕

〔上・下限値がある場合〕

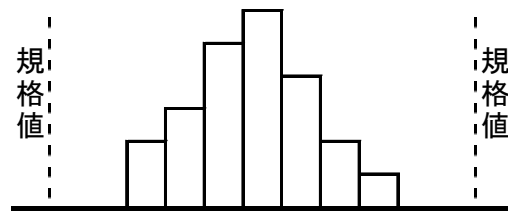


〔下限値のみの場合〕

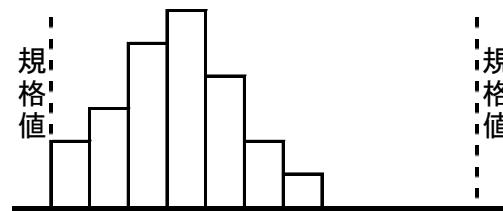


※上限値のない場合の考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

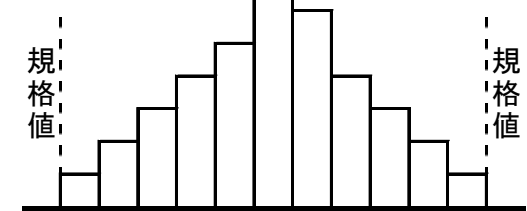
〔度数表または、ヒストグラムの場合〕
〔ばらつきが少ない〕



〔ばらついている〕



〔ばらつきが大きい〕



2 多工種複合工事の取り扱い

(1)主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。

3 その他

受領時における施工プロセスチェック・施工体制チェック表を活用して、評定を行うこと。

「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行うこと。